

値段は安くても、効き目・安全性は新薬と同じ ジェネリック医薬品を使うと 自己負担が減ります!

ジェネリック医薬品の メリット

- **価格が安い**
新薬の2～8割の価格です
- **同等の効果**
成分と効能・効果は新薬と
ほぼ同じです
- **のみやすく改良**
大きさや味、においなどが
改良されているものも



新薬の特許期間が切れた後に販売される「ジェネリック医薬品」。新薬よりも開発費用が大幅に削減できるため安く販売されていますが、効き目や安全性は、国の厳しい審査で新薬と同等であることが確認されています。

処方された薬がジェネリックに変えられるかどうか、まずは医師や薬剤師に相談してみましょう。

ジェネリックに変えた場合の金額比較

■ 花粉症・アトピー性皮膚炎など

1回1錠・1日1回を1年間服用した場合



※薬代のみ。自己負担3割の場合の金額です。

10,370円安い!

■ 胃炎・逆流性食道炎など

1回1錠・1日2回を1年間服用した場合



※薬代のみ。自己負担3割の場合の金額です。

5,563円安い!

TOPIC

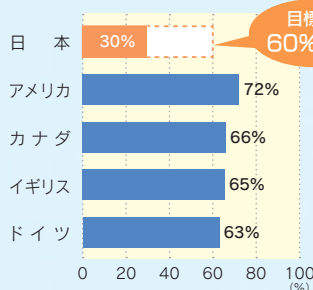
欧米では60%以上がジェネリック

世界保健機構(WHO)でもジェネリックの使用を勧めていて、アメリカなどの欧米諸国では、ジェネリックのシェアが60%を超えています。

日本では、普及に向けた取り組みにより増加傾向にあるものの、欧米諸国の水準には達していないのが現状です。厚生労働省では2018年3月までにシェア60%以上を目標に掲げ、普及を後押ししています。

参考: 日本: 最近の調剤医療費(電算処理分)の動向 平成25年2月(厚生労働省)
諸外国: IMS Health, MIDAS, Market Segmentation, MAT Dec 2009, RX only
(注) 諸外国の数値については、出典および定義に差異があるため、単純に比較はできない

● 各国のジェネリックのシェア



ジェネリックの検索は こちらから

今お使いの薬の薬品名を入力すると、ジェネリックの有無、薬価の比較などができます。

● かんじゃさんの薬箱

(日本ジェネリック医薬品学会)
<http://www.generic.gr.jp>



健保組合からのお知らせ

当健保組合では、毎年増加している薬剤費の削減対策として、一定の薬剤処方を受けている方に「ジェネリック医薬品への切り替えに関するお願い」を10月下旬にお送りすることを予定しております。ジェネリックに切り替えることで、皆さまの自己負担額が軽減されるとともに、健保組合にとっても医療費増加の抑制につながります。対象となった方へは、ご自宅へ親展扱いで送付いたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。